

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

神経調節性失神の病態の原因解明に関する研究

1. 研究の対象

2013年3月19日から2025年3月31日までの期間に東海大学医学部附属病院循環器内科でチルト試験を行った患者と健常者（「14R053」と「201-03」に参加した）を対象とする。

2. 研究実施期間

（機関の長の許可日） から 2030年3月31日 まで

25.6.9

3. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、神経調節性失神の病態の原因解明を目的とした研究を実施する。そのため当院においてチルト検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに検査項目のデータを選び、神経調節性失神の病態の原因について調べます。

方法：この研究に使用する試料として、すでに保存されている項目4に記載する検体および情報等を使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・試料： 血漿、血清、抽出済み DNA
- ・情報： データとして利用する患者情報（年齢、性別、血圧、心電図、脈拍、診断名、検査結果、AC 活性量、ドーパミン、アドレナリン、ノルアドレナリンの血中濃度、高分解能ホルター心電計測定データ、過去の失神回数とその状況、遺伝子配列）。

5. 情報の提供先・提供方法

該当なし

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2557）

研究責任者 基盤診療学系 臨床薬理学 小見山智義

問い合わせ担当者 基盤診療学系 臨床薬理学 小見山智義